

# せせらぎ



平成30年 9月26日発行 No.4

今回の授業は、三角形と四角形の仲間分けの学習でした。8つの図形を三角形の仲間と四角形の仲間、その他の仲間に分けました。仲間分けのポイントとなる、頂点の数や辺などに注目して仲間分けをすることができました。

校内研究授業 9/19 (水)

2年算数「長方形と正方形」

指導者

ねらい「図形を弁別する活動を通して、三角形、四角形についての理解を確実にする。」

つかむ

1. 「めあて」をもとよう
2. 「見通し」をもとよう



8つの図形が提示され、仲間分けの学習が始まりました。「どこに注目すれば仲間分けができるだろうか。」というめあてを子供たちと考えました。

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



まずは、一人一人でどのように分けるのか、8つの図形の小さい版を使って考えました。



3人組で話し合った後、全体で確認しました。どうしてそのように分けたのか、しっかりと理由も言えました。

曲がっている線があるのは、三角形ではない。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



三角形の仲間と四角形の仲間、その他の仲間に分けることができました。



ノートに振り返りを書き、1時間の学習を振り返っています。

3つの辺(3本の直線)できているのが三角形、4つの辺できているのが四角形ということに、どの子も気づき仲間分けをすることができました。

授業研究会では、「直線や辺、頂点などに着目しながら仲間分けできていた。また、理由もしっかりと言っていた。」という意見が出されていました。

